

真珠特集Ⅱ

Pearl Festa '91

"Pearl Legend"



みずみずしい輝きの街、パールシティー神戸を飾って、第二回パールフェスタ'91（主催社団法人・日本真珠振興会）が、真珠の日にちなんで、六月一日、ポートピアホテル・大輪田の間で開催された。

今年のテーマは、真珠物語・パールリジェンド。主な内容は、「パールプリンセス最終審査会」「パールエッセイ入賞者紹介」「パールファッションショー」「ウエディングステージ」「パールプリンセス発表」。総合司会は、この場に相応しい、シックな岡田真澄さん。ゲスト審査員には、女優の大地真央さんを迎えた。

パールプリンセス最終審査会では、一、〇五〇名の中から選ばれた二〇名が、華々しく舞台を飾った。また、パールファッションショーには、これまでに選ばれたパールプリンセスが、第一九回インターナショナルパールデザインコンテストの入選作品を身につけて登場、会場は、熱気とため息に包まれた。応募総数一、七四通の作品の中から、一五作品に絞られたパールエッセイ。最終審査に携わったのは、作家の森瑤子さん。「最後に残ったものは、いずれもどこか光るものがあり、本当にパールエッセイ賞に相応しい品格のある作品ばかりでした」と評するように、秀作がそろった。ウエディングステージでは、再び二〇名のパールプリンセスが、ウエディングコスチュームに身を包んで登場、舞台は花園と化した。そして、パールプリンセス発表。代表パールプリンセスには、前川由木子さんが選ばれた。

★インターナショナルパールデザイン

コンテスト受賞作品（主な作品のみ紹介）

作品・自由部門（応募数一八三・国内一七七・海外

一〇六）

グランプリ 大島弥生（田崎真珠株式会社）

金賞 村井寿子（田崎真珠株式会社）

銀賞 加藤幸保（田崎真珠株式会社）

内海和子（田崎真珠株式会社）

Mr. K. C. White（アメリカ）



上/'90パールフェスタコンテスト
下/'90パールフェスタパーティ風景

金 賞 沢本幸子(株みつわ)
銀 賞 西田恵美子(大洋真珠(株))
銅 賞 牛山恵美(株ナガホリ)
ペーパー部門(応募数六五七・国内一三四〇・海外
一三二七)

金 賞 Ms. M. Lasthaus(ドイツ)
銀 賞 永坂景子(株ボーラ化成工業)
銅 賞 Mr. R. Guigas(ドイツ)
賞 C. Emmanuel(フランス)
賞 角谷乃笛(フリー)

銅 賞 丸執さゆり(株ボーラ化成工業)
Ms. A. Bretz-Leicht(ドイツ)
Mr. R. Guigas(ドイツ)
Mr. J. Mouchier(フランス)

★'91パールエッセイ最終審査結果

最優秀賞 「娘にー真珠のイヤリングに添えて」
間嶋 稔 新潟県 六〇歳
優秀賞 「うぶな真珠」
斉藤君子 東京都 二六歳
「同級生」

特別賞 河野りか 北海道 三二歳
「つねんば先生に贈った二四の心珠」
阿部廣美 静岡県 三五歳
「母の真珠の指輪について」
荒木敬子 東京都

★代表パールプリンセス 前川由木子 東京都 二二歳

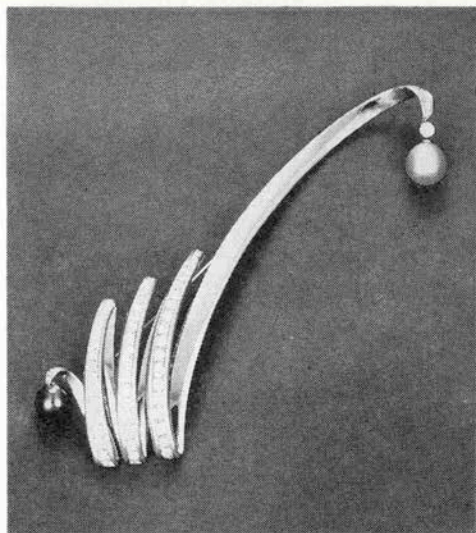
★パールプリンセス 高矢 リヤ 東京都 二三歳

川上 裕美 大阪市 二二歳

★パールアイドル

清水 美帆 岐阜県 二一歳

なお、当日の様子は、六月十六日(日)、午後三時～三時五四分、サンテレビジョンで放映されます。



★'91グランプリ作品

銅 賞 安保美由紀(大洋真珠(株))
西田恵美子(大洋真珠(株))
柚田敏男(柚田貴金属工芸)
服部浩治(株脇海道)
Mr. R. L. Grinstein(アメリカ)
作品・課題部門(応募数六八・国内一八・海外一四〇)

ご家族づれで楽しいフィッシング

須磨 海づり
平磯 公園
神戸市立



Restaurants
KOBE Wine
レストラン
KOBE WINE

海辺のレストランで、本物の神戸ビーフ、神戸ワインをご賞味下さい。

	須磨海づり公園		平磯海づり公園	
料金の種類	大人 (16歳以上)	小人 (6歳～15歳)	大人 (16歳以上)	小人 (6歳～15歳)
基本つり料 (4時間)	1,200円	700円	1,000円	600円
割増つり料 (1時間当り)	300円	170円	250円	150円
入園料	200円	100円	200円	100円
海洋放牧場	1人1回 300円 (貸竿料金全 入園料別)			

■休園日 須磨海づり公園(毎週火曜日)、平磯海づり公園(毎週金曜日)
■平磯海づり公園駐車場 4時間まで500円、1時間毎に追加100円、單車100円

●お問い合わせ●

■須磨海づり公園 ☎(078) 735-2907

■テレホンサービス ☎(078) 732-4926 (06) 339-4926

■平磯海づり公園・レストラン神戸ワイン ☎(078) 753-3973

じぶん再生。

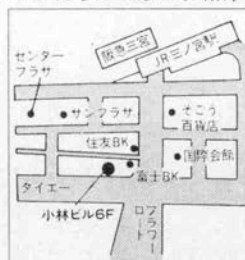
24時間テープ案内 / 06(312)4048

★年中無休(AM10時～PM7時)★カウンセリング無料

神戸

☎078(331)7183

神戸市中央区三宮町1-3-3
小林ビル6階



大阪

☎ 06(312)1420

品川美容外科

●東京 ●大阪 ●名古屋 ●福岡 ●鹿児島 ●広島
●京都 ●横浜 ●千葉 ●仙台 ●札幌

各種カード・クレジット・ローン可

これからの余暇時代には

文化性を加味した“遊び心”が必要だ

板東

慧

△生活文化研究所所長▽

三浦 明 定

△プリンスコート社長▽

前田 和 穂

△神戸建築技術研究所所長▽

★遊びは、クリエイトすることが肝心

司会 神戸市がファッショ都市づくりを目指して二十年になりますが、小誌はそのファッショ都市宣言を受けてさまざまな提案を行ってきました。その後、ファッショタウンの街開きなど「核」も形成され、五月二十七日には待望の神戸ファッショ協会も設立されました。設立時で三百社余りが参加、会員の業種も単にアパレルだけではなく多岐にわたっています。

今日は、ファッションを生活文化全体にわたるものとして捉え、まず「余暇時代のライフスタイル」をテーマにお話をお伺いしたいと思います。九〇年代から二十一世紀にかけて、今後どのような余暇開発、レジャーライフの創造が考えられるかなどについて、国内外の例を引きながらお話し下さい。

板東 レジャーが叫ばれ始めたのは、一九六〇年ごろ、高度経済成長期に入った時期です。その後、オイルショックなどがあつたのですが、所得が上がつてフレックス制度の導入などで休暇がとりやすくなった。新人類といわれる三十二、三歳以下の人たちは、遊び型人間と呼ばれるのではないのでしょうか。もっとも遊ぶ人と遊ばぬ人がいますが、遊びは大体女性先行型、それにつれて中年、老年の意識も変わってきた。中年の子育ての終った

女性に遊びが浸透してきている。海外旅行にしても半分はビジネスですが、あとの半分はレジャーになっており、しかも団体型から個人型へ移ってきている。目的も文化的なものや、古城とか特定の国を目指す傾向が強くなっています。

前田 まず余暇というところ「遊び」になりますが、私にしても「遊びとは何か」といって遊んでいる訳じゃない。自分自身が楽しんでいるということなら、ゴロ寝してタバコ吸ってるのも遊びですが、やっぱり何かクリエイトして、何かを作りながら遊ぶというのが正しいのと違いますか。自発的に楽しみを求めるとか。

三浦 全くおっしゃるとおりです。また遊びには時間と金がかかるということもあり、遊べばキリがないという深いところがあります。

前田 例えば、プールサイドでパーティーをやる時など日本ではインストラクターみたいなのがいて、「さあ、今度は球ころがしを：」「今度はカラオケ大会を：」という形になるのですが、ああいうのは遊びとは程遠いと思うんです。他人に遊ばしてもらうなんてのは愚の骨頂ですからね。

三浦 そうですね。テーマを絞らずに遊ぶと、ピン트가ずれて結果的に虚しい時があるでしょう。例えば京都へ行って「神社、仏閣を回りましょう」といった目的があ

ればいいんだけど、ただおいしいものたべて、きれいな人見てというだけだと、帰ってきて何だったということになる。ただ、遊びでは（キリに対して）ピンを求めている面もあるでしょう。パリのクリヨンあたりで、アラブの王様あたりが一日五十万円で一年間部屋をとっている。ところが、ご主人の留守にフランス人の経営者が一日三分の一くらいでリセールしてくれるわけです。しかし二十万円にしてもこちらにしてみれば、清水の舞台から飛び降りるような感じ。遊びにはそういうところもあります。やはり、先生のおっしゃったようにクリエイトする方が新しい。しかしそのためには相当な努力がいるでしょう。

前田 いや、そうじゃない。私は最近演劇をやっているが、その裏方さんは照明や音響装置があるから台本どおりキチンとやってくれるのを喜ぶんです。しかし私は自分で楽しんでやっている訳ですから、台詞どおりでは面白くない。三年間に「カルメン」「マイフェアレディ」去年は「王様と私」をやったのですが、アドリブやりたから主役でないものをやる。例えばリクルートの問題

板東 慧さん



三浦 明定さん



前田 和穂さん



などの時事問題を風刺でやると、お客さんがワツと笑う。そういつたのが遊びやないかと思うんです。セリフどおりやるんだったら学会と同じですから。もちろん、自分なりに考えてやっているわけで、家内に言わせると「今年もまた恥かきに行くの」と。ところが変なもので、ファンがつくんですよ。それも昔屋のマダムさんたちが「あの人出るんやったら私また行くわ」って。

★時代はストロンクからグッドへ「遊び心」が大切

三浦 私思うんですが、余裕がないという遊びはできません。いま日本でも遊びが言われるようになったのはお金とか時間とか国民の中にゆとりが出てきたからだろうと。伝統芸術にしても、それが神の喜びであつたころから自分が参加していく形になった。従って遊びが質の高いものになってきているわけですね。経済の面でも諸外国に追いつけ追い越せのいわゆるストロンクな時代が完全に終って、グッドすなわち遊びの時代になってきた。人間が本来持つべきだったのが欠落していたものを取り戻すときがきた。「賢いばかり」「儲けてばかり」

では面白くなってきたということですね。

ヨーロッパの芸術にしても、最近はおペラ、モーツァルトなどが日本人の血の中にどんどん吸収されている。模倣はおおいに結構だと思えますよ。ワインを集めたり、家具を集めたり、極力いい音楽を聞くとか、要するに欧米文化との接点を多く持つことが必要です。そういうものがふえてくると、神戸はますます面白くなりえます。ただ、大阪、東京あたりに比べてそれを受け入れて消化する素地が神戸にあるかどうか、観客が動員できるかどうかという問題はあります。

前田 その点について言えばですね。甲南台に音楽の街というのを作っているんですよ。静かな地域なので、地下にミニホールを作って、女性のビブラフォンの演奏者が五年ほど前から毎年二回、演奏会を開いています。最初は二、三十人だったんですが、いまは百人を越す人が集まってくるんですよ。神戸って町は非常に珍らしいところですよ。最初から千人、二千人の大ホールを市役所が作るより、逆に百人かそこらの小さいコンサートを何カ所か作って「何やりまひよ」といった方がうまくいく。音楽家とかが自宅を開放して、それは大変ですが、その地域に与える影響というのは、ものすごく大きい。

三浦 全く同感です。ヨーロッパでも、ミケランジェロやダ・ヴィンチが金持のパトロンに育てられたという歴史があるわけです。パトロンがあつて質の高い遊びが出てくる。それは建築物でも都市景観でも同様です。音楽家が自分でホールを作ったり、個人の私邸を、例えばロックフェラーだとかシアーズだとか、コカコーラの社長が私邸をデコラティブアートミュージアムにしたりとかメジチ家などがその代表的なもので、芸術家をそのお抱えにするだけでなく、市民の中に消化できるようなシステムを作っていく。それは大変なことだと思いますよ。

前田 いいご意見です。しかし神戸市にその音頭をとらせるとするのは無理で、ヨーロッパでも都市が芸術家を育てるというのは、ありえないことですね。

三浦 行政すなわち都市は従来、金儲けのストロングな都市管理をやってきたわけですが、今後はやはり文化度の高い遊びの加わった都市づくりをしないと、市民からそっぽを向かれるようになりますね。例のクリント・イーストウッドがフアーネルという芸術の町の長になって「あれもやればいい、これもやってもいい」と自由な発想でやっている。ニューヨークも気が付いたら大赤字で、アイラブ・ニューヨークと発想を転換して、街角で古本売らせたり、ニューヨークを売り出せるものは何でも売するという方法をとっている。そういう意味では神戸の笹山市長がアーバン・リゾート・フェアという遊び心を含めた都市経営をなさっているのは、なかなか先見の明のあることだと感心しています。

前田 ただ行政が遊びを管理するといった形になるとまずいですよね。実は私もいま、自分の家を造っているんですが、ねらいは中世風とか友人に話したら「そこにテラス造って舞台にしたら」とか、「バックはイギリスの十五世紀にしてシェークスピアやつたらええなあ」とか言って、大劇場を借りるわけにはいから、そこで小さいながら最高の芝居ができたら万々歳ですよ。

三浦 私もいま、デコラティブ・アート・ミュージアムと呼べるものを造っています。素材はむこうの物を使って。パーティーなど色んな形で使える場所を提供したいと思っているんですよ。パーティーが好きだし、おいしいワインを飲んで、素敵な出会いがあつてーと日本にいままでなかったものにしたいと。

前田 日本にはね、社交界がないんですよ。社交界というイメージが全然別のところにある。ないとは言いませんが、それは男のアマミューズメントみたいなもので、知的な会話もなく、「どこそこの女が…」といった世間話で終ってしまう。悲しいですね。

三浦 日本のパーティーで虚しいのは、つながっていないことです。欧米では、一度出席すると「あなた、来週空いてますか。うちでパーティーやりますか」と、例

えばワインの話なんかでつながっていく。そのためにはこちらもそれなりの知識を仕込んでいかなければならないし、そうすることによって話題も高尚になり、教養も磨かれていく。もっとも最近全般に余裕がでてきて、ライフスタイルが多様化してきたのは確かです。遊びのボーダーレス化も進み、ウインドサーフィンの大会に「来週オーストラリアへ行くよ」とか、遊びが貪欲化してきています。

板東 パーティーはいま、確かに全盛期のようなですね。しかし、団体旅行が同窓会のように義理で集まっているのが多いようです。私の近くの外人など金曜ごとに大げさでなく、持ち寄りで楽しんでいるようです。パーティーでは、夫婦や男女間でちよっとスリリングな点がなければ面白くないですね。また、西洋の人はキザを美のひとつだと思っているんですね。ある程度のキザっぽさがかえって他人との交際の壁を破ったり、場を楽しくしたりするようです。

前田 ゴルフやスキーの海外ツアーは珍らしくなくなっています。例えばバキスタンの川下りのように安易でただ冒険だけというのも結構多い。

三浦 無秩序な遊びには、戒めがあるんですよ。パーティーにしても、外人は外見で人格を見ます。カジュアルで来て下さいと言われて、本当にジーパンとTシャツで行くなんてのは場違いで、エイリアンが入ってきたようにメチャクチャになってしまう。

前田 やはり、遊びもキザというかスマートさが必要で。センスがあるということで、常識の欠如というのが一番困る。パーティーも共通の話題がある同種の人が中心ですから、外見という服装も大切です。そういった点では欧米とは文化度の違いといったものがありますね。

★国際級の街、神戸をめざして

三浦 パーティー談議になりましたが、神戸の街は女の子が行きたい街ですね。大阪はどうしてもポテンシャル

はあるが、ゼニというイメージが強い。それを打ち消すために花博をやったんだと思いますがね。大阪人にも余裕が出てきたってことでしょ。その点、神戸は賢い街だというイメージがある。可愛い、優しい、イージーに遊べる。そういう位置づけをより一層エンラージして都市計画に生かしていく。その切り口はやはり遊びだと思います。

前田 神戸はね、人口が百二十万余りで、手ごろな規模なんです。それでハイカラというレベルが一定しており、日本では一地方に過ぎないけど、「神戸」というと「やっぱりハイカラですね」という受け取り方をしてもらえるメリットがある。だからこれを活用するともっともっとハイセンスな街になることができるでしょう。

三浦 神戸大丸の長澤前店長は、百貨店事業の拡大より、自分の遊べる楽しい街づくりを優先している。ご本人も北野町で遊びたいような感じ。そこで金儲けをやっていないとは言いませんが、あの遊び心が街づくりにつながっていた。

前田 その功績は大きいと思いますよ。昔の洋館をあれだけ見事に活用したのは、やはりあの人の力ですよ。あの人が神戸にいなかったら、あれだけのものはできていません。神戸市はあの人の勲章をあげてもいいと思う。

三浦 それとあの人の街づくりは国際級というのかな。ニューヨークへもって行っても立派に通用する。成熟した欧米文化をちゃんと遊びにした人でしょうね。また、

日本の中流意識の問題ですが、確かに国民総生産はアメリカを抜いています。欧米の上流意識とは、身分・階級制度もありますが、要するに働かなくても延々と遊んで暮らせるということです。財閥解体後日本には上流意識がなくなつて、所得はふえたが、つまらない中流意識で、金が基準になっている。

前田 ブルジョアかプチブルか、労働階級かということになるが、日本はそういうランクではプチブルでしょうね。

三浦 プチブルでもスーポリッシュ、つまり新興成金というのには冷遇されるんですよ。金だけあってもマナーもないし、スタディが足りない。二十一世紀になって欧米文化を身につけた人も出てくるから、いまは過渡期でしょうか。企業にしてもストロングからグッドにならないといけない。会社の名前（職業）でなくて、何をしているかという時代になった。消費者にしても高価だから買うのではなく、本当にいいから金を払うところへいきだしたんじゃないかな。商店街も、主婦が働きに出て職場の近くで買って帰るから衰退しているように、ライフスタイルが大きく揺れ動いている。バック旅行が減ってきたのも、生活レベルが上がっただけでなく、指向がバラエティに富んできたからでしょう。

前田 ただ、現在の日本人に文化度というものが失われたと思います。昔は訪れた家のお婆ちゃんがちゃんとお茶を出してくれるということがあった。

三浦 大正・明治の頃の遊びには「粋」がありましたね。いまなら「かっこよさ」とでも言いましょうか。しかしもっと深い遊び心の「粋」というものですね。ゴッホの名画を大金を投じて買った人が、死んだら自分と一緒に焼いてくれと。日本人のひとつの体質かも知れませんが。私もアンティークをよく買うんですが、社員には金が出したが、世の中に対して仮の所有者に過ぎない。次の人に渡す義務がある。それが文化なんだと。

前田 建築について言えば、日本の製品は世界一だと時々思います。手先が器用だから。しかしドイツのように独創的なものはできません。応用する器用さだけですから「世界に冠たる」などと思えば上がるのは危険です。

三浦 アーバン・リゾート・フェアでも建築は大きなウエイトを占めています。都市をレジャー化するためにはビル・ウォッチングというのがありますね。

前田 この機会に神戸の建築家が結集して、パルセロナならガウディといった神戸スタイルを確立すべきだと思いますよ。ニューヨークだってあれを造ったのはたった

三人の建築家です。

三浦 今後はまた商業そのものが、都市の観光資源になっていくのではないかと思います。ハーバーランドや北野町にできる新しい商業地と既存のセンター街との調和が快適な街づくりにつながっていく。神戸の位置づけとしては、商業者がつくるメインストリートで、世界に通用するようなものが欲しい。どこの国家にも都市を代表するような通りがありますよね。銀座、心斎橋といったもアメリカには聞かない。むしろ「オーム」という一街道が青梅マラソンのお蔭で知名度が高い。イベントも市民が狂えるようなものが欲しい。

前田 神戸祭りにしてもっと市民が参加して、阿波踊りのように阿呆になるところが欲しい。祭りは所詮遊び心ですから、都市のコマーシャルとしてのイベントにする必要があります。軽井沢にしても六甲山にしてもみなイギリス人が開発したわけですが、「ハナコ」の行ってみいたい街のアンケートで神戸は一位になっている。神戸にはそういう素地があるから、市民ひとりひとりがセンスを磨けば、世界の神戸になる可能性がある。

三浦 エキゾチックもひとつの要素ですね。外人が来て住みたくなるような街。世界の大都市には必ずチャイナタウンのような少数民族が快適に暮せる街があるんですよ。神戸では南京街の復活とか、インド人の街とか、また港を利用するなどして世界の人を吸引するスポットを造ればいいのではないかと思います。

板東 そうです。アラブ街とかアメリカ人街とか。新聞地なんかもそういう風にした方がいいですね。最近長期の休暇がとれますから、安い長期滞在型のリゾートを考える必要があります。街でリゾート機能を充実させる。元町をショッピングとすれば栄町は劇場とかインド人街とか、通りを活用していく。神戸祭りももっと悪の華的エネルギーで盛り上げる方法もあります。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の
企画は以上各社の提供によるものです。

NEO
MODE MÄRCHEN

絵と文
竹中紀子
〈スチリスト〉

“ささやかだけど、心優しいこと”

“神戸市の皆さん、お早ようございます！”

休日の朝、窓を開けて叫ぶのが、何故か我家のしきたりでありました。

必らず、モーツアルトかランパル、

そして熱いコーヒー。

一番遅くゴソゴソ起き出して来る娘が半分、眠った状態のまま。

ジャガイモをうすくスライスしたものをオリーブ・オイルで炒め、パセリドツサリ。

プレーン・オムレツ、

カリカリに焼いたトーストにマーマレードと紅茶。

ここまで来ないと休日の気分は出ない。

日常の、半ば習慣化した行いの中にフト、見せた動作、会話などに、

また、何でも冗談にしてしまおうと、皆が倍愉しもうとする或る種のルール、

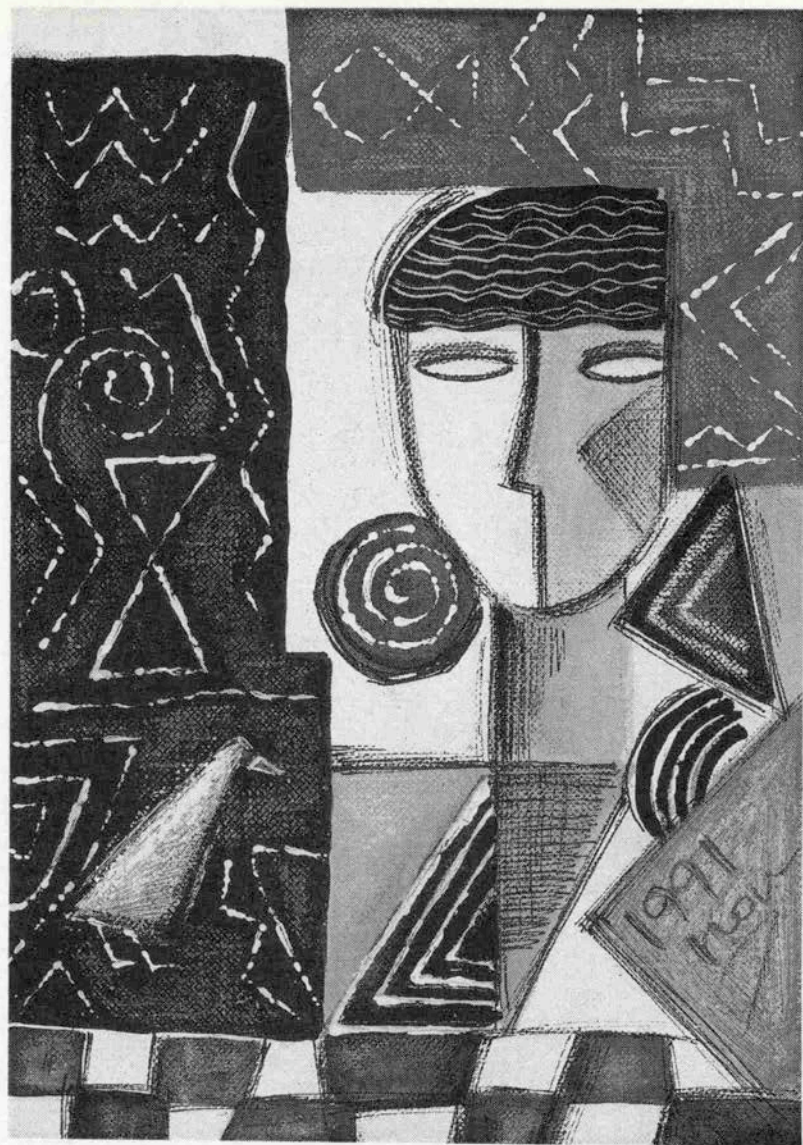
さり気ないやさしさに、

日常的なそうしたことにふっと懐しさを憶えます。

相手が人間でも、花でも、本でも、また椅子でもいい（私は椅子が異常に好きなのです）愛する対照があるというのが、生きがいなんだろうかと考えたりします。

今、起っていることが“夢”で、夢だと思っていることが現実なんだといつか本で読んだ事があります。

それが判るのは、違う世界に入っていた時なんでしょうか。



KOBE FASHION SPOT

★イタリアの鬼才、ジャンニ・ヴェルサーチ衣裳文化展の開催決定



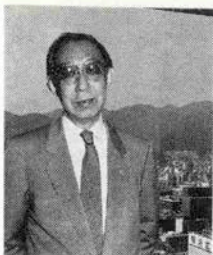
ジャンニ・ヴェルサーチ氏の作品

今年第3回を迎える「神戸ファッションフェスティバル(KFF)」のメインイベントとして、世界を代表するファッションデザイナーのひとり、舞台衣裳デザインの方でも活躍している、イタリアのジャンニ・ヴェルサーチ氏の衣裳文化展を開催することが、去る5月8日KFF実行委員会より発表された。会期は10月19日、12月8日まで、会場は神戸市立博物館。

■お問合せ・KFF実行委員会
☎322-5332

★「ファッション環境学会」間もなく発足

従来の服飾、モードのワクをこ



もう150件余りも入会の申込みがあるんですよと、準備にお忙しい岡田普教授

え、ファッションを切り口にして車、家電製品、建築、都市計画までを広くとらえて、流行現象を学術的に研究していこうというファッションナブルな学会が、この6月中旬に産声をあげることになった。発足後は一般向けの講演会や、機関誌の発行などを通じて開かれた学会にしていきたいと意欲的だ。

■連絡先・神戸芸工大、岡田普教授
☎794-5051

★今年は藍がファッションカラー
今年も、モードメイトミチコ主催の「ゆかたパーティー」の季節がめぐってきました。今回はオー



ストラリーの明るい太陽を感じさせるシルクスクリーン作品の中で、それぞれが主役になってファッションパーティーをお楽しみくださいとのこと。とき・7月6日、ところ・ギャラリー貴八。

■モードメイトミチコ

☎431-8051

★阪急六甲にインポート・ブティック「ラベルビー」がオープン
阪急六甲を山手左の方へ坂を上

っていった所に、オレンジ色のテントが印象的なブティック「ラベルビー」がある。オーナーの船井さんがこだわりの眼で選んだバッグや小物類はハイセンスなものばかり。嘉納千紗子さんのガラスアークセサリーもとても素敵でした。



■灘区宮山町3-3-39
六甲ヒルコート ☎871-5638

★ギャラリーのような美容室

「フレンドリー」オープン

5月11日、JR六甲道駅構内にイラストレーター若尾真一郎さんがプロデュースした美容室「フレンドリー」がオープンした。お客さまと心温まる関係を、というのがオーナーの平井さんの願いだ。



■JR六甲道駅構内
☎851-4767



88th ANNIVERSARY

Merci Beaucoup
1901.7.10 - 1989.7.10

お洒落のための特典いろいろ。
1枚のカードから。



セリザワカード

'91 SUMMER COLLECTION

色に恋する夏、到来。
新鮮なコーディネート
見つけてください。



serizawa

KOBE

センター街店、P-4ショップは
相互入れ替わって新しくオープンしました。

本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL 078-331-1695 ●レディス●本店・さんプラザ店・センター街店・さんちか店・P-4ショップ●メンズ●メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI・GIFU

聖なる轟

創立1000年以上の歴史を誇る、
ドイツ・レーゲンスブルグ大聖堂の少年聖歌隊がやってくる。

いまにも。





第14回〈そころ〉クラシックスペシャル

レーゲンスブルガー・ドームシュパツェン

レーゲンスブルグ大聖堂 少年合唱団コンサート

8/2〔金〕 6:30PM開場 7:00PM開演 **神戸国際会館大ホール**

〔入場料〕S席3,500円・A席2,500円(全席指定・消費税込み)

〔主催〕そころ神戸店、神戸国際会館、神戸クラシック音楽推進協議会 〔後援〕ドイツ連邦共和国大使館、神戸市、神戸市教育委員会

〔発売場所〕そころ神戸店本館1階総合案内所、チケットぴあ、神戸国際会館プレイガイド、さんちかプレイガイド、チケットセゾン、関西プレイガイド協会

〔お問い合わせ〕神戸国際会館 TEL.(078)251-8171 〔友情出演〕宝塚少年少女合唱団



神戸三ノ宮
そころ
神戸(078)221-4181

Health
&
Music

座談会

人も楽器も健康管理が大切

湊川 徹〈兵庫医科大学耳鼻咽喉科学教室助教〉
緒方 重郎〈医学博士・神戸芸術文化会議運営委員〉
北浦 洋子〈ヴァイオリニスト・神戸室内合奏団〉



博士でカメラマンの緒方重郎先生に、お父上がお医者様でいらっしゃるバイオリニスト北浦洋子さんに加わっていただき、幅広いお話を聞かせていただきました。

緒方 バイオリンの形というのは人間の形に似ている気がするんですよ。胴がくびれて中心に弦が張つてある。人間の胴もくびれて、真中に神経繊維の束のような脊髄が通っている。そしてその弦や神経が不調になると、どちらもバランスが崩れる。非常に似かよっていますね。

北浦 私は楽器を2・3カ月に一度、楽器屋さんで調整するんです。いわゆる健康診断をする訳ですね。すると楽器もしやんとしますよ。

緒方 人間は神経を緩めたり締めたり、また張り替えることができます。でも人間の顔面神経は、バイオリンの弦の太さくらいあるんですよ。**湊川** 太さは直系2ミリくらいです。丁度ケープルのように、

沢山の細い神経繊維が束になって、一本の神経を構成しています。顔面神経の問題は2つあります。いわゆる現代社会でのストレスが原因となつて、顔面がピクピクする痙攣性のものと、目や口が閉じられなくなる麻痺性のものです。そして、その神経麻痺の中でも、ウィルス性のものと、いくら調べても原因のわからないベル麻痺と呼ばれるものに分かれます。

北浦 音楽を聞くとやすらぎを覚えてホッとしたり、またストレス解消になると言う方もいらっしゃるんですが……。

緒方 精神安定剤の代わりに音楽を聞かせると言うやり方も、この頃よくありますね。元氣の出る音楽とか心が安まる音楽のCDなどが出ています。しかし顔面神経の場合は運動神経になるんです。

湊川 運動神経が主になります。味覚、唾液の分泌にも関与する神経繊維を含みます。顔面痙攣などに対しては、精神的ス

6月13・14日に神戸で開かれる顔面神経研究会。今だ原因の確定しないベル麻痺といわれる特発性麻痺は、日々研究が進められ学会も14回目を迎えます。今回、この学会を主催する兵庫医科大学の湊川徹助教と医学

の、音楽など精神緩和の意味から効果があるかもしれません。麻痺の予防はなかなか難しいです。しかし、患者さんの中には比較的、高血圧や糖尿などの病気を潜在的に持つておられる方がよくあつて、これ等の病気が原因となつてゐることもあります。ウィルス性のものは、体の抵抗力が低下している時に起こりやすいようです。

北浦 楽器も夏は湿気で状態が悪く弦もよく切れるんです。夏バテするんですね。

緒方 人間も雨の日には調子が悪くなり、カラッとした日には良くなるという方がよくいます。

北浦 バイオリンという楽器は人間の感情を移ししやすいのではないかと思うんです。演奏会の時は緊張していますからその



湊川徹助教授

日の精神状態がそのままでます
また、技術がある程度伴ってき
ますと演奏に性格が表れてきま
す。楽器は言葉のかわりに心を
伝えるものですから……。

五感でインプットしたも

のを音楽家は演奏でアウトプットする。詩人は五感で感じたものを言葉でアウトプットする。

北浦 私もその時、その時のイメージを大切にしています。

湊川 バイオリンは初心者で弾くと、澄んだ音が出ませんね。

北浦 バイオリンは左右の手が全く違う動きをしますから、小さい頃から始めないとうまくならないにくいんです。私は5才から始めました。

緒方 でも5才くらいだと自分の意志とは関係なく、ですか。

北浦 やはり好きでないと続きませんね。最初はただ、音を出してみたいという感じです。私は母からいつやめてもよいと言われ続けてきましたが、気がつくとかれしかできないというこゝたになりまして……。

湊川 バイオリニストの特性は何ですか。やはり指は長い方がよいでしょう。

北浦 これは訓練で長くなるよ
うです。私も右手より左手の方
の小指が少し長いんです。指の



緒方重郎先生

開き方も違います。

緒方 指の神経が働いているんですね。ところで北浦さんのお子さんはおいくつですか。

北浦
4才と1才です。

緒方 水ぼうそうはきれいなか。水ぼうそうで顔面神経麻痺を起こすこともあるんです。ウイルスが一回入ると住みついてしまいきますからね。特に顔の神経につきやすいんです。それが抵抗力がなくなるとワッと暴れたすんです。子供の頃に感染したウイルスは神経に沿って出てきますからね。



北浦洋子さん

湊川 常に心身の健康を保つことが予防につながるかわかりません。学会では病気の発症キ序や、治療法など様々のことがらについて論じられます。

緒方 医者という仕事はうまくいく場合とそうでない場合がありますから厳しい仕事ですね。

うまくいった時の喜びと使命感があるから続くんです。自分との戦いですから、音楽に精神的安定を求めることもよくあるんですよ。

新たな旅立ちの日、華やかに '91秋のご婚礼衣裳大展示会

- 日時 7月28日(日)
午前10時～午後5時
- 会場 神戸ポートピアホテル
大輪田の間(南館1F)



大丸前
つや衣裳店

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎078(321)0360(代)

神戸ポートピアホテル衣裳室	
ピアンカスボーザ	☎(078) 302-3378
シュバリエ	☎(078) 302-1051
神戸風月堂88衣裳部	☎(078) 302-5555
ホテルゴーフリッツ衣裳部	☎(078) 303-5555
新神戸オリエンタルホテル衣裳室	
アソルティ	☎(078) 262-2908
橋公会館衣裳室	☎(078) 382-0160
そごうライダルサークル	☎(078) 221-4181

ロールスロイス 無料サービス

一定額以上ご衣裳をご利用
いただいた方にご提供します



今、話題

Kobe の優雅でリッチな Beer・Hall

オフィスレディがおすすめする

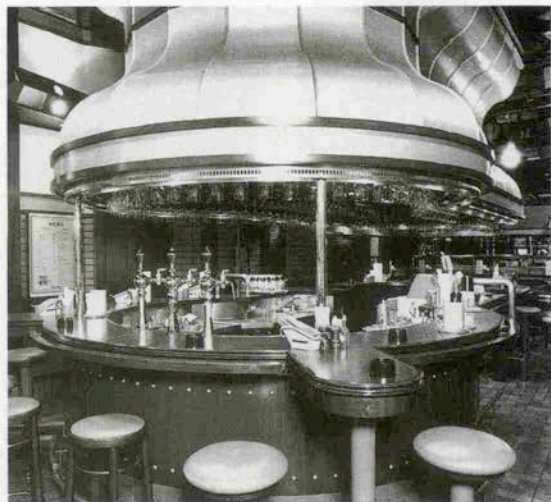
この店・あの味

味も雰囲気も 本場ドイツ生まれ

本格的にビールを楽しむと思ったら、つい足の向くお店。時間と手間をかけてつくってくれた生ビールは、舌にまろやかで“ビールは泡がおいしい”ことを証明してくれます。欧風のゴージャスな雰囲気の中で料理人、ウエイターの細やかな心配りが感じられます。お昼にはお手軽なランチもあります。若い女性同士でも気軽にに行けるお店ですね。



石原昌枝さん
〈神楽石野証券〉



Kirin-City

三の宮

〒650 神戸市中央区下手法通2-1-13第13シャルマンビル1F

☎078-392-3804

営業時間 AM11:00~PM11:00(年中無休)

“文学”が感じられる シックなスペース

リヒャルト・ワーグナーの有名な歌劇「さまよえるオランダ人」をイメージしたお店。凝り性のマスターは、文学の造詣も深く、仲々の話好きです。女性が一人でも安心して飲める上品なムードが、気に入っています。JR垂水駅に近く、西神戸のナイト・スポットとして、いつまでも大切にしたいお店の一つです。



宮川 光世さん
〈料理ジャーナリスト〉



会員制サロン
ドリンク **ゼンタ**

神戸市垂水区陸ノ町1-13

☎078-708-1023

営業時間 PM6:50~PM11:50 日曜・祝日休

神戸のお嬢さん (137)

活発な六甲っ娘

堀川真里さん (甲南女子大学文学部
英文学科三回生在学中)

堀川さんは、六甲寺のお嬢さんで、私は、父上と佛教青年会で昭和59年まで、よく御一緒に仕事をいたしました。

六甲幼稚園から六甲小学校、甲南女子の中高を卒業して、今、英文学科の3回生で生粋の六甲っ娘。私どもの長女が4回生、下の娘が1回生と、御一緒なものが縁のあることだと存じております。どちらかといえば父上に似ていらつしやるようで、趣味はテニスというスポーツレディ。洋画が好きで、お茶、お華にも精を出されて花嫁修行にも余念がない、さわやかなお嬢さんです。

推薦者／雲井世雄

(能福寺 住職)

(カメラ・池田年夫)



神戸のお嬢さん (138)

人柄の良さが
感じられる：

相原紀子さん (機アバン第一事業本部
生産技術課)



五月晴れの様なさわやかな紀子さん。

岡山に生まれ神戸で服飾の専門的な勉強をされ、卒業後大好きな神戸に在住し親元を離れての独立生活。近代的な表面とは反対に内に秘めた古風な日本女性のしとやかさを持ち、併せて豊かな感性も持ち合わせている素晴らしいお嬢さん。大勢の

推薦者／石田 宏

(機アバン取締役総務部長)



中に居てもキラリと輝く真珠的な存在感があります。スポーツも多才で特にゴルフは小学生の頃から始め、今や50を切ることもあるとか……。キュートで、エレガンスを兼ね備えているお嬢さんです。
(カメラ・松原卓也)